

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

過去6回、完売が続いている人気の読響福岡公演
心震わす大管弦楽の響き



勝利の ブルックナー

魂を震わす大管弦楽の荘厳な響き。
人間と自然への愛を高らかに謳う！

これぞ、人類が遺したへ最高峰の音楽

涙が自然とあふれるほどの、圧倒的なスケール感！



管弦楽：読売日本交響楽団

モーツァルト：
ヴァイオリン協奏曲第3番 ト長調 K.216
ブルックナー：
交響曲第7番 ホ長調



首席客演指揮者としての最終プログラム
万感の想いを胸に大曲を振る！

指揮：下野竜也
(首席客演指揮者)

コンサートマスター：長原幸太
Concertmaster: Kota Nagahara

小澤征爾も認めた期待の新星！
ロンドン・フィルやバルリン・ドイツ響などと共演

ヴァイオリン：
アレクサンドラ・スム

読売日本交響楽団 名曲シリーズ 福岡公演

2017年 **3月11日** (土) 18時開演 (17時30分開場)

福岡シンフォニーホール (福岡市・天神 アクロス福岡1階)

Saturday, 11th March 2017 18:00 / Fukuoka Symphony Hall

SY5,500 AY4,500 BY4,000 (学生券¥2,000)
(全席指定・消費税込)

◆学生券の取り扱いはヨランダオフィスとアクロス福岡チケットセンターのみとなります。
◆未就学児のご入場は固くお断りいたします。(有料託児サービス有。詳しくは裏面をご覧ください)
◆都合により演奏者及び曲目が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、FBS福岡放送、読売日本交響楽団

共催：(公財)アクロス福岡 後援：福岡市、福岡市教育委員会、FM FUKUOKA マネジメント：ヨランダオフィス 協力：北九州・筑豊京築・福岡東部・福岡西部・福岡南部・筑後各読売会

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390

<http://yomikyo.or.jp/>

(10時~18時・年中無休)

ヨランダオフィス・チケットセンター

0570-033-337 / 092-406-1771

(10時~18時)

プレイガイド アクロス福岡チケットセンター (2階) : 092-725-9112

(10時~18時)

チケットぴあ : 0570-02-9999 (Pコード: 305-642)

生きる喜び、究極の美。 ブルックナーの至高の音楽。

過去6回、完売が続いている人気の読響福岡公演。今回は、首席客演指揮者の下野竜也の指揮で、ブルックナーの交響曲第7番を披露します。ブルックナーの交響曲は、読響の“おほこ”とされる得意のプログラムで、歴代常任指揮者らと数々の名演を築いてきました。下野竜也とのブルックナーも高く評価されており、東京公演では終演後にスタンディングオベーションが起こるなど、熱狂的に支持されています。

ブルックナーの交響曲の中でも最高傑作の呼び声高い第7番は、宇宙をも包み込むような壮大な響きが特徴で、聴く者を圧倒的な感銘へと誘います。まさに自然を通して人間が勝ち得た〈最高峰の音楽〉で、生きる喜びが表れた感動的な音楽です。読響が誇る厚みのある弦楽器の響きや、光り輝く管楽器のハーモニーを存分にご堪能ください。これまで、ブルックナーの音楽を聴いたことがない方にも、きっとブルックナーの音楽の魅力を感じていただけるはずです。下野&読響の熱い思いの込められた演奏にご期待ください。

前半のモーツァルトのヴァイオリン協奏曲第3番は、優雅な曲調の中にユーモアも散りばめられた明るく快活な作品。フランス在住の新星アレクサンドラ・スムがソリストを務めます。完璧なテクニックと豊かな音楽性を持ち、小澤征爾なども絶賛するなど欧州で注目を浴びる若手が、その類稀なる才能で聴衆を魅了することでしょう。

指揮 下野竜也

Conductor: Tatsuya Shimono

©読響

鋭い感性と熱いハートで活力に満ちた音楽をつくる俊英指揮者。2006年から6年余り、読響・正指揮者として、意欲的なプログラムを次々に披露し、多大な功績を残した。13年4月からは読響・首席客演指揮者を務めており、確固たる評価を得ている。2017年3月末に同ポストを退任する。

1969年鹿児島生まれ。大阪フィルの指揮研究員時代には、朝比奈隆らの薫陶を受けた。ウィーン国立演劇音楽大学に留学中、東京国際音楽コンクールとブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以降、チェコ・フィル、シュトゥットガルト放送響、ローマ・サンタチェチリア管などと共演し、国際的な活躍を展開している。霧島国際音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバル松本などの音楽祭でも活躍。現在、広島ウインドオーケストラ音楽監督、京響常任客演指揮者。2017年4月には広響音楽総監督に就任予定。

ヴァイオリン アレクサンドラ・スム

Violin: Alexandra Soumm

小澤征爾も認めたフランスの新星ヴァイオリニスト。フリーベック・デ・ブルゴス、プロムシュテット、N.ヤルヴィ、スラットキン、ヴァンスカ、ソヒエフら著名指揮者の指揮で、ロンドン・フィル、ベルリン・ドイツ響、パリ管、ロサンゼルス・フィルなどと共演している。室内楽でもロンドンのウィグモア・ホールやブリュッセルのパレ・デ・ボザールなどでリサイタルを開催。録音では、クラヴェス・レーベルから2枚のCDをリリースし、高い評価を得ている。

モスクワ生まれ。5歳の時にヴァイオリンを始め、ウィーンに移り、名教師ボリス・クシュニールに学んだ。2004年には、ルツェルンでのユーロヴィジョン・コンクールで第1位を得た。現在はパリを拠点に世界各地で活動を展開している。

読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、オーケストラ音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立された。アルブレヒトやスコロヴァチェフスキら世界的巨匠が常任指揮者を歴任し、現在はS.カンブルランが常任指揮者を務めている。2015年3月には、欧州公演をカンブルランの指揮で行い、現地の音楽関係者から「長い歴史にふさわしく洗練された響きを持つ」と最上級の評価を受けた。同年9月にはカンブルランの指揮でワーグナー「トリスタンとイゾルデ」を演奏会形式で行い、新聞や雑誌で絶賛された。現在、名誉顧問に高円宮妃久子殿下をお迎えし、東京・赤坂のサントリーホールでの定期演奏会を軸に充実した内容の演奏会を多数開催している。また、病院や小中学校での演奏なども手掛け、社会貢献や音楽文化のすそ野拡大にも地道な努力を続けている。14年のソチ五輪から使用されている「君が代」の演奏を務めており、16年8月のリオデジャネイロ五輪で大きな話題を呼んだ。http://yomikyoku.or.jp/

©Béatrice Cruveiller

託児サービスのご案内

託児サービス（生後4ヶ月から小学校入学前のお子様）をご希望の方は、チケット購入後、下記にお申し込みください。受付は公演前日（土・日・祝日は受付を行いません）までですが、定員になり次第締め切らせていただくことがあります。

(株) テノ. サポート (月～金曜9:00-18:00)

☎ 0120-8000-29 Tel. 092-263-3580

なお、託児料の一部としてお子様一人につき¥1,000（消費税込）をご負担いただけます。